

(款) 10総務費 (項) 5総務管理費 (目) 25企画費

◎世界遺産条約登録の経費

世界遺産条約登録事業

【 世界遺産登録推進担当 】

【総合計画上の位置づけ】

歴史を継承し、文化を創造するまち

歴史環境:豊かな歴史的遺産が大切に保全され、伝統的な文化が保存・継承されているまち

【事業の目的】

対象 「武家の古都・鎌倉」の歴史的遺産

意図 鎌倉の歴史的遺産の世界遺産一覧表への登載を目指して国へ世界遺産委員会への推薦を要請するため。

効果 鎌倉の歴史的遺産を確実に後世に伝えとともに、古都としての風格を保った鎌倉らしいまちづくりに資する。

【事業の内容】

(1) 世界遺産条約登録事業

- ・啓発事業として既存リーフレットの増刷、神奈川県との共催によるポスターコンクールを実施した。
- ・世界遺産登録に向けた市民等との協働による取り組みとして、イベント事業や刊行物発行など、広報啓発活動を実施した。
- ・世界遺産登録に向けた関係機関との協働による取り組みとして、推薦書原案作成や国際シンポジウムの開催など、地元自治体としての準備作業を実施した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

世界遺産登録の推進(2-1-6-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
49,800	34,090	30,047		4,043

主な支出内訳

・世界遺産条約登録事業

リーフレットの増刷及びポスターコンクール等印刷製本費 640

鎌倉世界遺産登録推進協議会負担金 6,000

神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市世界遺産登録推進委員会負担金 23,200

事務事業評価シート

事務事業 No./名 称	■ サービス部門 世界-01 世界遺産条約登録事業 □ 支 援 部 門							
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	1142 世界遺産条約登録事業						
主管課	世界遺産登録推進担当			関連課	文化財課			
分野名	歴史環境							
目標 (目標値)	市民等との協働による取り組みを推進し、世界遺産一覧表への登載をめざします。							
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考			
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日			
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯				
運営資源 状 況	決算値	30,047千円	42,895千円	2,496千円				
	(国・県)							
	(負担金等)							
	(一般財源)	30,047千円	42,895千円	2,496千円				
	人員配置数	5.0人	3.5人	2.0人				
	人 件 費	50,199千円	35,962千円	19,494千円				
	協 働 の パートナー	鎌倉世界遺産登録推進協 議会・関係行政機関	鎌倉世界遺産登録推進協 議会・関係行政機関	鎌倉世界遺産登録推進協 議会・関係行政機関				
事務事業 運営経費	総事業費	80,246千円	78,857千円	21,990千円				
	市民1人当 りの経費	455円	448円	126円				
	対象者1人 当りの経費	—	—	—				
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価								
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)		
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(25年度)	
展示会等観覧者数	◎	目標値	5,500人	6,000人	6,000人	6,000人	6,000人	
		実績値	5,500人	19,000人				
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(25年度)	
事業費	◎	目標値	43,296千円	34,090千円	55,605千円	—	—	
		実績値	42,895千円	30,047千円				
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(25年度)	
展示会等回数	◎	目標値	3回	3回	3回	3回	3回	
		実績値	9回	5回				
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(25年度)	
研修回数	△	目標値	2回	3回	3回	3回	3回	
		実績値	2回	2回				
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)								
団体名								

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1)ユネスコ世界遺産委員会等における審査の厳格化を受け、当初掲げていた登録目標年次を変更したことに伴う、早期登録に向けた地元自治体としての課題の整理及び取り組みの推進 (2)世界遺産登録事業の進捗状況に応じた啓発活動を展開するため、「鎌倉世界遺産登録推進協議会(推進協議会)」内に設置した実行委員会等の再編成 (3)鎌倉の世界遺産登録に関する、より深い理解を市民から得ていくための取り組み (4)広報媒体の一つであるホームページの内容の充実
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) (1)「神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市世界遺産登録推進委員会(4県市委員会)」において、今後の進め方に関する具体的な検討を行い、一定の方針を定めた。また、4県市委員会と文化庁との共催により、国内外の学識者を招聘した国際シンポジウムを開催し、推薦書原案の練度・熟度を高めていく取り組みを進めた。 (2)推進協議会における過去の実績を踏まえながら、推進協議会に参加する市民等と綿密な協議・検討を行い、新たな実行委員会の立ち上げや統合・再編を行った。 (3)推進協議会と協働し、啓発イベントや広報媒体(展示)等の充実を図ったことにより、展示会等観覧者数が大幅に増加するなど、取り組みの中心となる啓発活動について大きな成果を得ることができた。 (4)この取り組みについて、市民各層の理解を得ていくため、子ども向けホームページを開設した。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) (4)英語版ホームページの開設
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) (4)鎌倉の世界遺産登録に関するホームページの製作・運営について、協定を結んでいる湘南工科大学と連携を深め、早期に英語版ホームページを開設する。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 有
	早期かつ確実な世界遺産登録をめざし、引き続き4県市委員会において様々な検討を行うとともに、文化庁との共催により第2回国際会議を開催し、その成果をもって推薦書原案の取りまとめを行い、国に対してユネスコへの推薦を要請する。また、推進協議会との協働により、適切かつ効果的な広報啓発活動を展開していく。		
担当課長氏名:		世界遺産登録推進担当担当課長 宇高 毅	

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 有
	鎌倉のまちづくりに資するため、常に世界遺産登録の意義及び目的を念頭に置き、早期かつ確実な世界遺産登録をめざしていく。そのため、4県市による推進体制を更に強化しつつ、文化庁とも綿密な連携を図りながら、より熟度の高い推薦書原案の取りまとめを行うとともに、秋頃を目途に国に対してユネスコへの推薦を要請する。また、世界遺産登録に向けた市民・県民の気運の醸成や、世界遺産登録後の遺産の保護なども視野に入れ、市民との協働による取り組みが、より充実したものとなるよう積極的に相互理解を深めていく。		
担当部名	世界遺産登録推進担当	部長名	島田正樹